



平成 29 年 3 月 14 日

各 位

東京都中央区八重洲二丁目 3 番 1 号  
ソフトブレーション株式会社  
代表取締役社長 豊田 浩文  
(コード番号 4779 東証第一部)  
問合せ先 取締役 管理本部長 木下 鉄平  
T E L (03) 6880-2600 (代表)

## 剰余金の配当（復配）及び配当予想に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、未定としておりました平成 28 年（2016 年）12 月期 剰余金の配当及び平成 29 年（2017 年）12 月期の 1 株当たり配当予想につきまして、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

### I 平成 28 年（2016 年）12 月期 剰余金の配当に関して

#### (1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 29 年 1 月 30 日公表)	前期実績 (平成 27 年 12 月期)
基準日	平成 28 年 12 月 31 日	同左	平成 27 年 12 月 31 日
1 株当たり配当金	5 円 00 銭	未定	0 円 00 銭
配当金総額	147 百万円	未定	—
効力発生日	平成 29 年 3 月 30 日	未定	—
配当原資	利益剰余金	未定	—
配当支払開始日	平成 29 年 4 月 17 日	未定	—

#### (2) 理由

当社グループの平成 28 年 12 月期連結業績は、売上高 7,719 百万円（前連結会計年度比 30.9% 増）、営業利益 1,014 百万円（同 49.5%増）、経常利益 1,013 百万円（同 49.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 657 百万円（同 76.1%増）となり、平成 4 年の創業以来、過去最高業績を達成いたしました。

また、当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要経営課題の一つとして認識しており、現状の当社及び当社グループの堅調・好調な業績を踏まえつつ、安定した配当を行うことができる



よう努めて参りたいと考えております。一方で、持続的な企業価値向上と株主還元を実現するためには、安定した継続的な利益を生み出す事業基盤の確立や積極的な新規事業の展開、資本投下等が必要であるとも考えており、中長期的な事業方針等も勘案しつつ、内部留保の充実、資金の確保等が必要であると考えており、これらの均衡を図ることが必要であると考えております。

上記の基本方針を総合的に勘案いたしまして、1株につき5円の期末配当を実施させていただきたいと存じます。

なお、本件につきましては、平成29年3月30日開催予定の定時株主総会の決議を経て実施する予定であります。

## II 平成29年(2017年)12月期の配当予想に関して

### (1) 配当予想の内容

基準日	一株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成29年1月30日公表)	未定	未定	未定
今回発表予想	0円00銭	7円00銭	7円00銭
平成28年12月期配当※	0円00銭	5円00銭	5円00銭

※平成28年12月期 期末配当金につきましては、前述の通り平成29年3月30日開催予定の定時株主総会の決議を経て実施する予定であります。

### (2) 理由

当社は、平成29年12月期配当予想は未定としておりましたが、本日別途開示しております「株式会社スカラによる株主提案の取り下げに関するお知らせ」のとおり、株式会社スカラとの間において当社の企業価値向上に向けた協議を行う中で、第26期(平成29年12月期)以後は、格別の資金重要がない限り、配当性向30%を目安として継続的に配当を行うこと等を申し入れております。

上記の申入れに沿って、平成29年12月期につきましては、当期の業績を前提に、1株につき7円の期末配当の予想としております。

以 上